

(第1号様式)

平成27年4月30日

神奈川県教育委員会教育長 殿

県立小田原城北工業高等学校長

平成27年度学校目標設定報告書(全日制)

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<教育課程> (1) 幅広い学習ニーズに対応する教育の展開	(1) ①工業高校に学ぶ生徒の幅広い学習ニーズに対応できる学習環境の整備と指導体制の充実を図る。 ②生徒一人ひとりの力と意欲を引き出す、よりきめの細かい指導の実現に向けた少人数、習熟度別授業を実施する。	(1) ・ものづくりにかかわる諸活動や課題研究の内容を充実できたか。 ・資格試験の受験者数及び合格者数は増加したか。 ・少人数、習熟度別授業を実施し、効果的な指導ができたか。(生徒へのアンケート)
<生徒指導・支援> (1) ものづくりを通しての人づくり教育の充実 (2) 生徒一人ひとりに応じた教育支援体制の確立 (3) 特別活動の充実	(1) ①工業にかかわる授業において、職業人に求められる規範意識や倫理観の醸成と、遅刻指導など基本的な生活習慣の確立をめざした指導を徹底する。 (2) ①頭髪や服装の乱れを正す「身だしなみ指導」や、「あいさつ一斉運動」などの活動を年間通じて継続的に実施する。 ②校門指導・巡回指導・遅刻指導など教職員一丸となった生徒指導により、学校生活のルールやマナーを定着させるとともに調和のとれた人間の育成を図り、規範意識やモラル向上に努める。 ③クラス・部活動・生徒会活動など様々な場面において生徒間及び教職員との良好な関係を作り上げ、すべての生徒が健やかに学校生活を営める環境づくりを進めるとともに、教育相談コーディネータを中心にスクールカウンセラー等と連携した教育相談体制を確立する。 (3) ①職業人としての望ましい態度の育成に向けて、部活動や生徒会行事の活性化を図る。	(1) ・欠席・遅刻の数は減少したか。 (2) ・問題行動の件数は減少したか。 ・多様な生徒に対して効果的な支援を行うことができたか。(教育相談やケース会議の実施状況) (3) ・文化祭の内容の充実が図れたか。 また、来場者数は増加したか。(校内及び来場者へのアンケート) ・部活動への加入者は増加したか。 ・運動部、文化部の大会や発表会での成果は上がったか。
<学習指導・授業改善> (1) 確かな学力の定着と学習習慣の確立及び学習意欲の向上	(1) ①LHR等の時間に学校全体で取り組む学習活動「学びなおし」を実施し、生徒の学ぶ姿勢づくりと学習の習慣づけを進めて基礎学力の定着を図る。 ②全校で取り組む研究授業週間のほか、教科研究会や年次研修として行われる研究授業とも連携し、組織的な授業改善をめざした研究活動を実践する。 ③教科担当者が興味・関心の持てる教材やエピソードを準備し、生徒の学習意欲を引き出す魅力ある授業づくりを進めるとともに、実践内容を職員間で共有して組織的な授業改善を推進する。	(1) ・学びなおし活動で基礎学力は定着したか。(診断テストの状況) ・研究授業週間において、教職員の授業見学の回数は増加したか。 ・生徒の意欲向上や言語活動の充実を意識した授業の展開ができているか。(生徒による授業評価)

<p>&lt;キャリア教育&gt; (1) 豊かな人間性と社会性の育成</p>	<p>(1) ①工業各科と各学年団が連携し、生徒の進路希望に即したきめ細かなガイダンス、説明会、卒業生を招いた進路懇談会及び校外見学実習を実施する。 ②キャリアアドバイザーと連携し、インターンシップの充実を図る。</p>	<p>(1) ・進路懇談会等で生徒の進路に向けた意識の向上が図れたか。(生徒へのアンケート) ・インターンシップの参加生徒は増加したか。</p>
<p>&lt;地域等連携&gt; (1) 開かれた学校づくりと広報活動の充実</p>	<p>(1) ①工業高校の特色を生かした地域と連携したものづくり活動や、地域貢献活動、小学生を対象とした夏休みものづくり体験教室を引き続き推進する。 ②各種の学校説明会やホームページのほか、高校体験プログラム、授業・部活動見学会や文化祭などの公開行事を通じて、工業高校としての本校の教育活動への理解を促進する。</p>	<p>(1) ・夏休みものづくり体験教室の参加者に、ものづくりの魅力を伝えることができたか。(参加者へのアンケート) ・各種の公開行事で、来場者に本校の特色を理解させることができたか。(参加者へのアンケート) ・学校説明会の来場者数やホームページのアクセス数は増加したか。</p>
<p>&lt;学校運営・学校管理&gt; (1) 安心安全な環境づくり (2) 事故・不祥事の防止</p>	<p>(1) ①工業教育にかかわる施設設備をはじめとした教育環境の整備と安全指導の徹底を図り、教育活動中の事故の発生を防ぐ。 ②災害発生時に的確な対応ができるようにするため、これまでに構築した校内及び地域との防災体制をさらに充実させ、高い防災意識の定着を目指す。 (2) ①事故防止会議などを通して職員の意識を高め、事故・不祥事の未然防止や課題の早期発見、早期解決に努める。</p>	<p>(1) ・教育活動中の事故は防止できたか。 ・地域と連携した防災訓練を実施することで、防災意識を高めることができたか。(生徒及び職員へのアンケート) (2) ・教職員が日頃から声を掛け合うことで、事故・不祥事防止の意識を高めることができたか。 (事故防止チェックリストの結果)</p>
<p>教育目標・教育方針・中長期的な方針など</p> <p><b>【 教育目標 】</b>  (1) 中学校における教育の成果をさらに発展拡充させて、国家及び社会の有為な形成者として必要な資質を養うこと。  (2) 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な技能の習熟に努めること。  (3) 社会についての深い理解と健全な批判力を養い、個性の確立に努めること。</p> <p><b>【 教育方針 】</b>  (1) 基本的な知識・技能を習得し、工業技術の科学的根拠を理解する。  (2) 工業技術の進歩発展に寄与する能力を得るため、常に新たなる独創力を養うように努める。  (3) 体力の増進に励み、規律ある礼儀正しい生活の実践に努める。  (4) 協同して責任ある行動をする態度及び勤労に対する正しい信念を培い、工業人としての自覚を養う。</p> <p><b>【 中期的な方針 】</b>  (1) 県西唯一の工業高校として地域産業を担う人材の育成を進めるため、専門教育の充実と生徒の進路実現を可能にする教育課程の工夫や改善に努める。  (2) 基本的な生活習慣の確立や個に応じた支援体制の確立を進め、規律ある態度を育てる。  (3) 各教科における基礎学力の定着を図るとともに、生徒一人ひとりの学習意欲の向上を目指した取組みを行う。  (4) 生徒会活動および部活動の活性化を図り、生徒の自主的・主体的な活動を推進する。  (5) 施設設備および人材の活用を進め「技術センター」として地域に貢献できる体制の確立を目指す。  (6) 防災教育の充実を図り、地域との連携を踏まえた緊急時の対応を整備し、事故・不祥事の防止の徹底と危機管理体制の充実を図る。</p>		

